

Solid Edge ST3/ST4 ベーシックマスター ST9 対応一覧

2017年3月13日

デジタルプロセス株式会社

はじめに

平素は Solid Edge をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。

また「Solid Edge ST3/ST4 ベーシックマスター」をご購入いただき、誠にありがとうございます。

さて、「Solid Edge ST3/ST4 ベーシックマスター」は ST3/ST4 用に執筆したのですが、3次元 CAD の考え方や Solid Edge の基本操作を中心とした内容となっておりますので、ST9 でも十分活用いただけるものでございます。

実際 ST9 でも基本的なインターフェースに大きな変更はありませんので、違和感なく読み進めていただけるものと存じます。

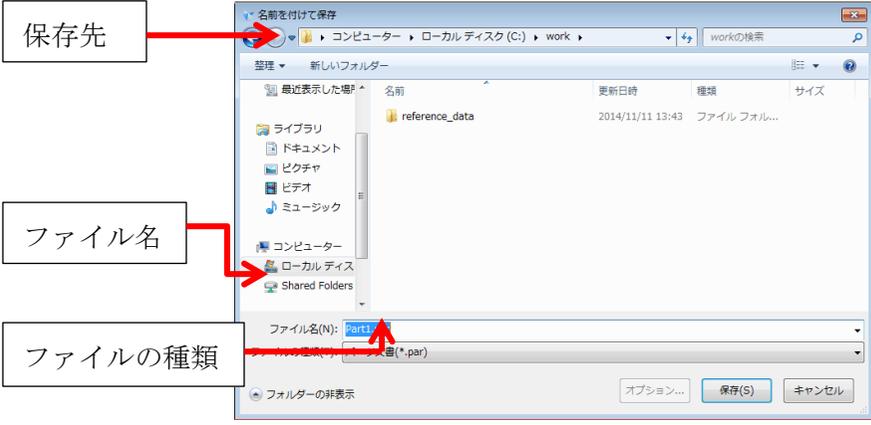
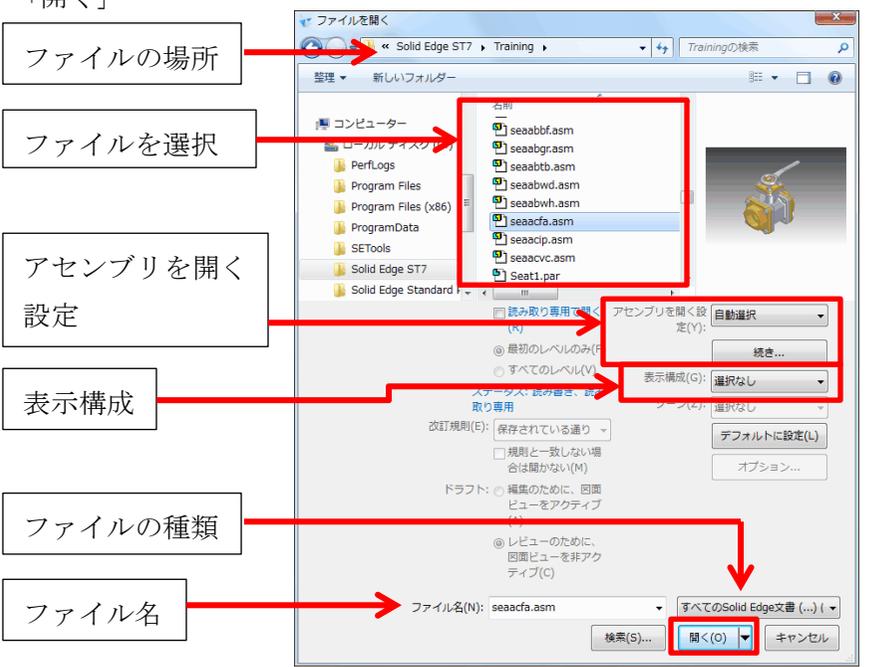
ただし、ST9 で追加された新機能や細部のメニュー変更の箇所等もいくつかございます。

本資料ではそういった変更箇所についてまとめました。

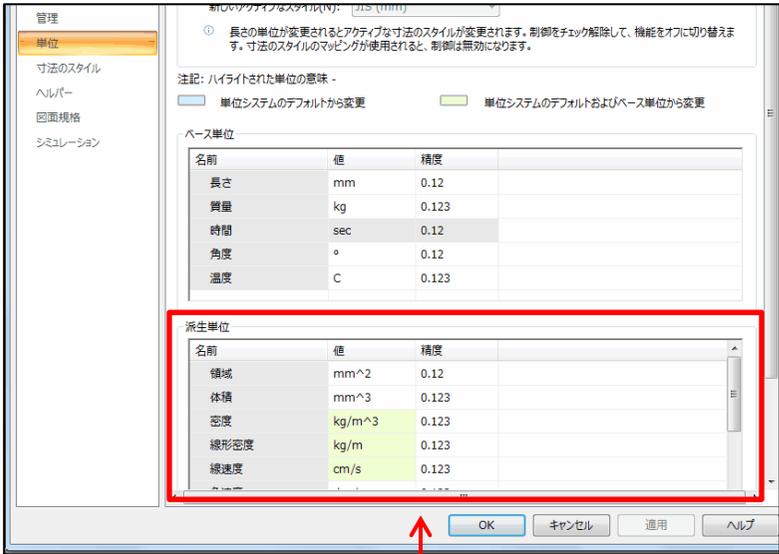
Solid Edge ST9 を修得する際、書籍に併せて本資料をご活用ください。

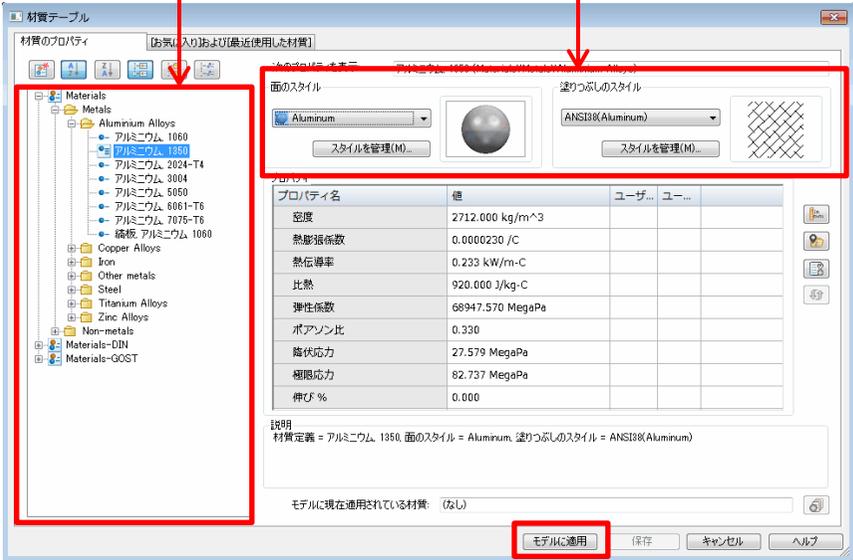
本書使用規定

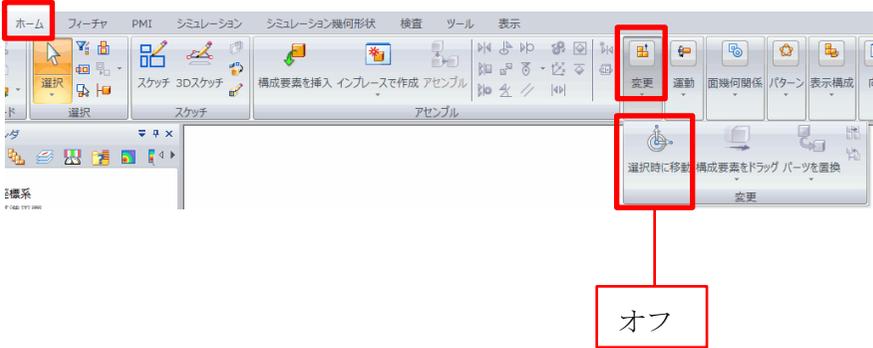
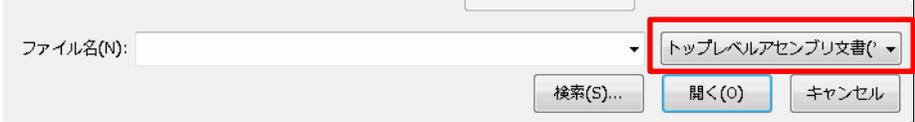
- 本書の著作権は、デジタルプロセス株式会社が保有します。
- 本書の内容を著作者の許可なく、変形/変更/加筆修正/複製/転用/引用/販売など二次利用を禁止します。
- 著作者は、本書記載情報の内容が起因によって発生した一切の問題についての責任を負いません。
- 本書記載情報は著作者の公約または義務を表わすものではありません。
- 本書記載情報につきましては、予告なしに変更することがあります。
- 本規定について同意できない場合は、本書は使用出来ません。
- 本書記載の会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

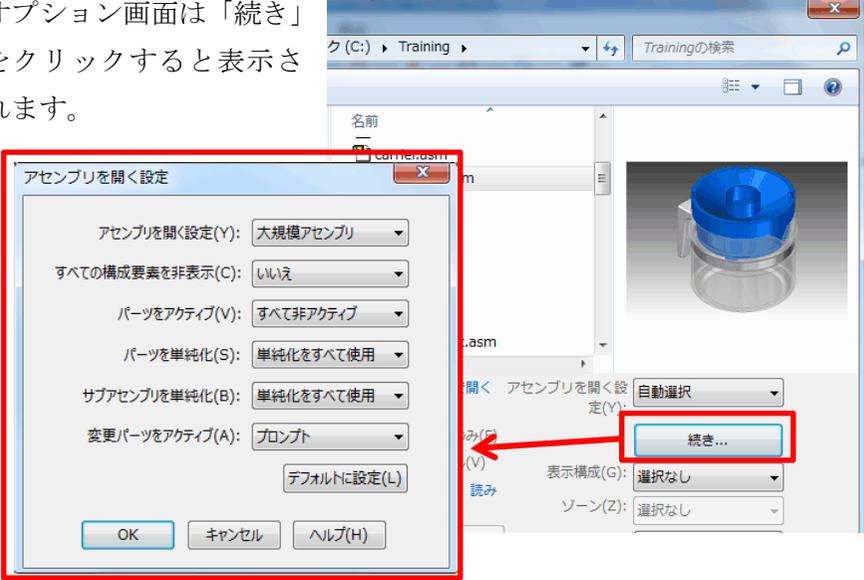
ページ	項目名	相違点
68 69	02 条件を指定 する	<p><u>ファイルの「名前を付けて保存」や「開く」のダイアログが Microsoft Office に準拠したデザインに変更されました。</u></p> <p>各ダイアログは下記に変更されました。</p> <p>「名前を付けて保存」</p>  <p>保存先</p> <p>ファイル名</p> <p>ファイルの種類</p>
70	02 条件を指定 する 03 ファイルを選 択する	<p>「開く」</p>  <p>ファイルの場所</p> <p>ファイルを選択</p> <p>アセンブリを開く 設定</p> <p>表示構成</p> <p>ファイルの種類</p> <p>ファイル名</p>

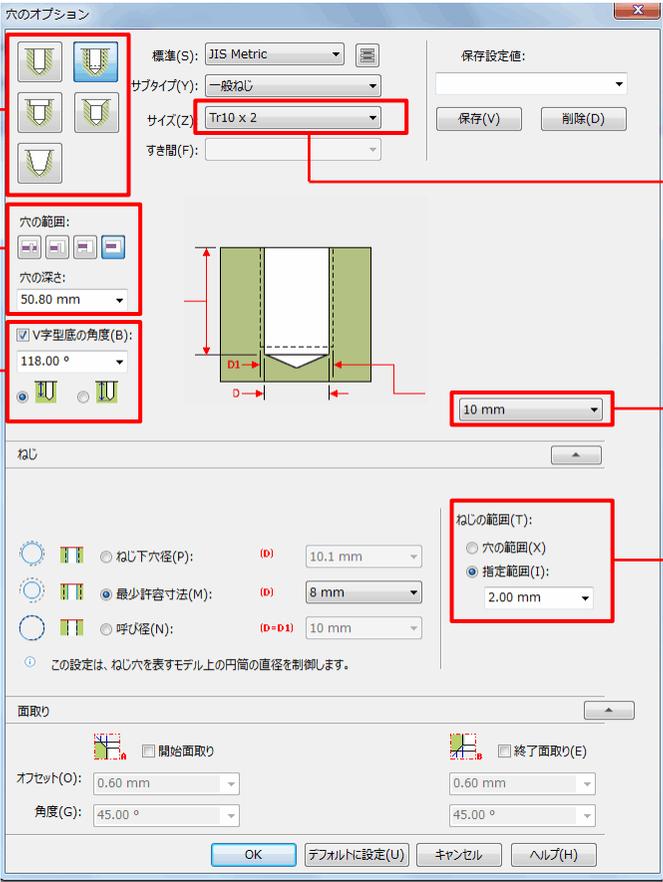
ページ	項目名	相違点
77	ビューツールバーのコマンド	<p data-bbox="371 208 1167 243"><u>[ビューの向き][ビューのスタイル]アイコンが変更されました。</u></p>  <p data-bbox="477 436 716 498">⑥ビューの向き</p> <p data-bbox="751 436 1055 498">⑦ビューのスタイル</p>
84	ショートカットによるファイルの切り替え	<p data-bbox="371 546 841 581"><u>下線部分の誤記を訂正いたします。</u></p> <p data-bbox="399 595 1153 629">誤 表示切り替え可能な文書の一覧は[Ctrl]+[K]キーを～</p> <p data-bbox="399 643 1190 678">正 表示切り替え可能な文書の一覧は[Ctrl]+[TAB]キーを～</p>

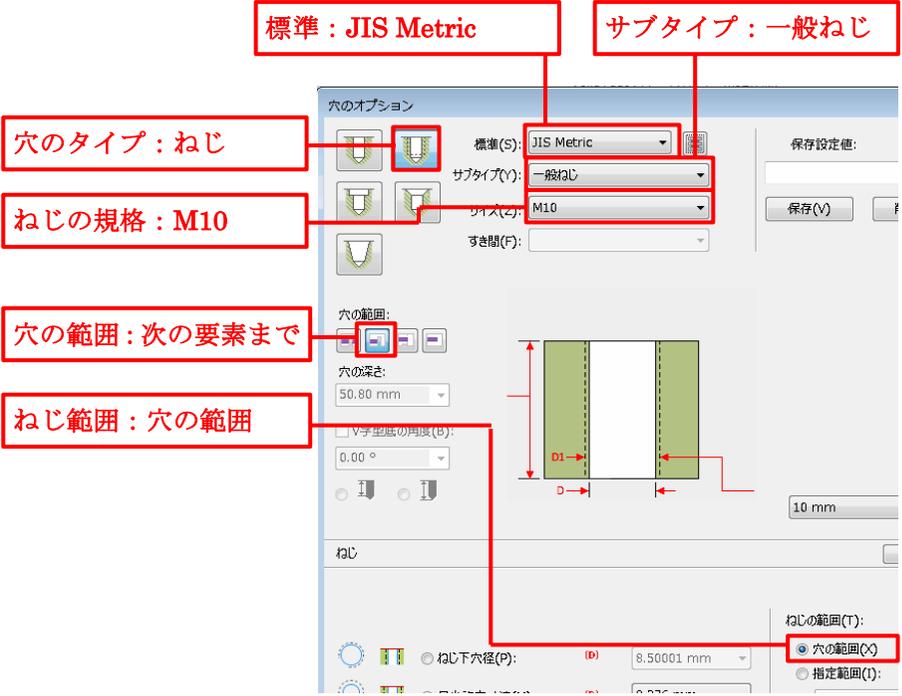
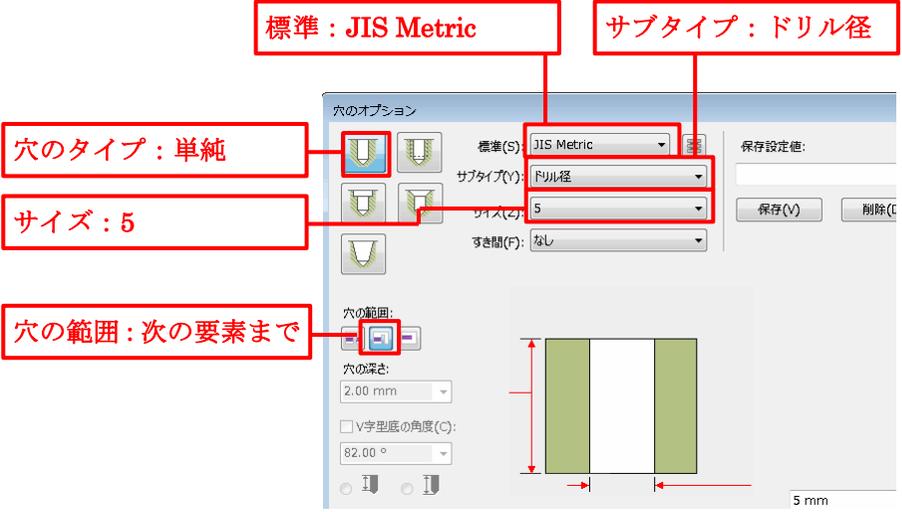
ページ	項目名	相違点
85	03 単位を設定する	<p><u>「単位」の設定は「Solid Edge のオプション」-「単位」に移動しました。</u></p> 
86	04 その他の単位の設定	<p>単位を設定するには「アプリケーション」ボタンから「Solid Edge のオプション」を選択し、「単位」タブで行ってください。</p> <p>「その他の単位の設定」も「単位」タブの下側で設定できます。</p> <p>「Solid Edge のオプション」-「単位」</p>  <p style="text-align: center;">04 その他の単位の設定</p>

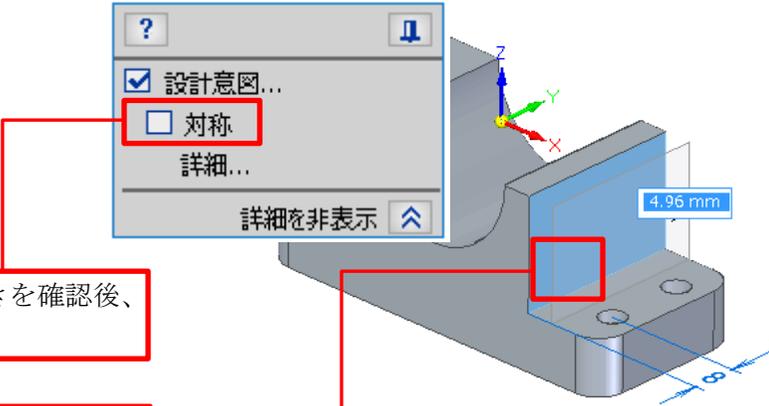
ページ	項目名	相違点																																								
86	02 材質を選択する	<p><u>複数の材質テーブルが使用できるようにダイアログが変更されました。</u></p> <p><u>種類ごとにフォルダ表示されるようになりました。</u></p> <p>材料のダイアログは下記に変更されました。</p>																																								
125	02 材質を選択する 04 色を指定する	<div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">材質を選択する</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">色を指定する</div> </div>  <p>The screenshot shows the '材質テーブル' (Material Table) dialog box. It features a tree view on the left for selecting materials, categorized under 'Metals' (Aluminum Alloys, Copper Alloys, Iron, Other metals, Steel, Titanium Alloys, Zinc Alloys) and 'Non-metals'. The main area displays the selected material's properties in a table:</p> <table border="1" data-bbox="665 666 1179 898"> <thead> <tr> <th>プロパティ名</th> <th>値</th> <th>ユーザ...</th> <th>ユー...</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>密度</td> <td>2712.000 kg/m³</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>熱膨張係数</td> <td>0.0000230 /C</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>熱伝導率</td> <td>0.233 kW/m-C</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>比熱</td> <td>920.000 J/kg-C</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>弾性係数</td> <td>68947.570 MegaPa</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ポアソン比</td> <td>0.330</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>降伏応力</td> <td>27.579 MegaPa</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>引張応力</td> <td>82.737 MegaPa</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>伸び %</td> <td>0.000</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>At the bottom of the dialog, there is a 'モデルに適用' (Apply to Model) button, which is highlighted with a red box in the image.</p>	プロパティ名	値	ユーザ...	ユー...	密度	2712.000 kg/m ³			熱膨張係数	0.0000230 /C			熱伝導率	0.233 kW/m-C			比熱	920.000 J/kg-C			弾性係数	68947.570 MegaPa			ポアソン比	0.330			降伏応力	27.579 MegaPa			引張応力	82.737 MegaPa			伸び %	0.000		
プロパティ名	値	ユーザ...	ユー...																																							
密度	2712.000 kg/m ³																																									
熱膨張係数	0.0000230 /C																																									
熱伝導率	0.233 kW/m-C																																									
比熱	920.000 J/kg-C																																									
弾性係数	68947.570 MegaPa																																									
ポアソン比	0.330																																									
降伏応力	27.579 MegaPa																																									
引張応力	82.737 MegaPa																																									
伸び %	0.000																																									

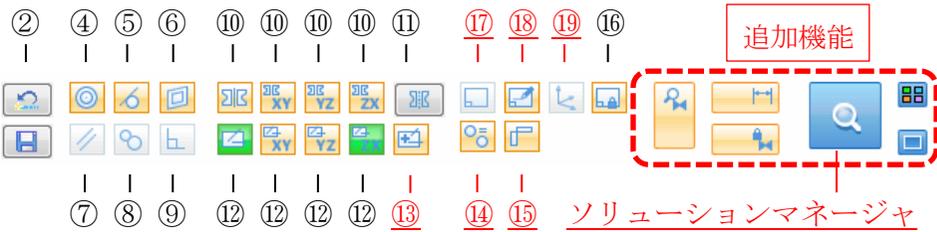
ページ	項目名	相違点
143	01 選択コマンドの設定	<p><u>コマンド名が変更されました。</u></p> <p>変更前「構成要素の選択と移動を有効」 変更後「<u>選択時に移動</u>」</p> <p><u>コマンドの場所が変更されました。</u></p> <p>変更前 [コマンドリボン]→[ホーム]→[選択]グループ 変更後 [コマンドリボン]→[ホーム]→[変更]グループ</p> 
	02 ファイルの選択	<p><u>トップアセンブリのみ選択するメニューが追加されました。</u></p> <p>従来のトップアセンブリ・サブアセンブリを選択する「アセンブリ文章」に加えて、トップアセンブリのみを選択する「トップアセンブリ文章」が追加されました。</p> 

ページ	項目名	相違点
144	オプション設定の詳細	<p><u>大規模アセンブリなどの対応の為、オプション設定にアセンブリの規模別に開き方を指定する機能が追加されました。</u></p> <p>オプション画面は「続き」をクリックすると表示されます。</p>  <p>オプションの追加機能は下記の通りです。</p> <p><u>「アセンブリを開く設定」</u></p> <p>「小規模/中規模/大規模アセンブリ」を選んだ場合は、あらかじめ設定された内容が各オプションに適用されます。設定内容は「Solid Edge のオプション」で変更できます。</p> <p>「自動選択」を選んだ場合はアセンブリのアイテム数を基準に、「小規模/中規模/大規模アセンブリ」から適切なものが自動選択されます。</p> <p>「最後の保存」を選んだ場合は、アセンブリを最後に保存した状態で開きます。</p> <p><u>「変更パーツをアクティブ」</u></p> <p>変更されたパーツがある場合、アクティブ化を自動/プロンプト（手動）選択のどちらで行うか設定します。</p>

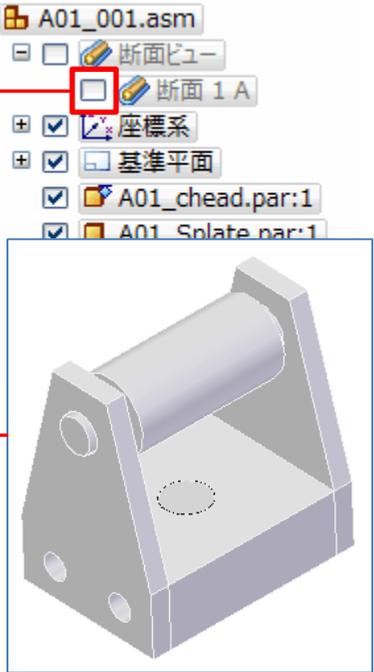
ページ	項目名	相違点
180	01 単独編集の 実行	<u>コマンド名が変更されました。</u> 変更前 「Solid Edge パーツで開く」 変更後 「開く」
205	穴のオプション	<p><u>[穴のオプション]のダイアログが変更されました。</u></p>  <p>ねじ</p> <p>ねじの範囲(T): <input type="radio"/> 穴の範囲(X) <input checked="" type="radio"/> 指定範囲(1): 2.00 mm</p> <p>面取り</p> <p>オフセット(O): 0.60 mm 角度(G): 45.00 °</p> <p>OK デフォルトに設定(U) キャンセル ヘルプ(H)</p>
	ねじ条件の 設定ファイ ル	<p><u>設定ファイルがエクセルファイルに変更されました。</u></p> <p>変更前 Holes.txt 変更後 JIS Metric.xlsx</p> <p><u>ファイルの場所が変更されました。</u></p> <p>変更前 [SolidEdge インストールフォルダ]¥Program 変更後 [SolidEdge インストールフォルダ]¥Preferences¥Holes</p>

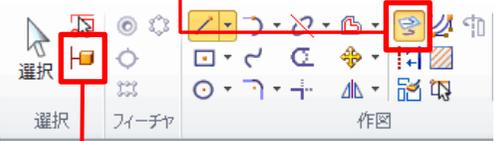
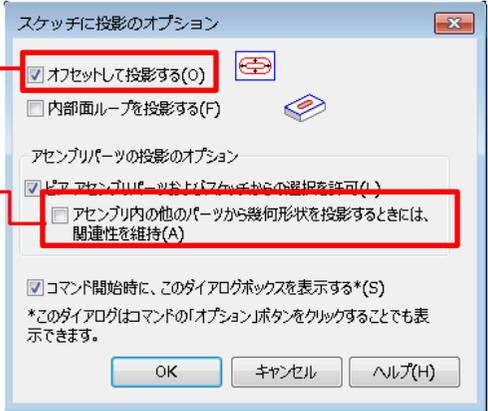
ページ	項目名	相違点
206	02 パラメータ を設定する	<p>[穴のオプション]のダイアログが変更されました。</p>  <p>標準 : JIS Metric</p> <p>サブタイプ : 一般ねじ</p> <p>穴のタイプ : ねじ</p> <p>ねじの規格 : M10</p> <p>穴の範囲 : 次の要素まで</p> <p>ねじ範囲 : 穴の範囲</p>
258	02 パラメータ を設定する	 <p>標準 : JIS Metric</p> <p>サブタイプ : ドリル径</p> <p>穴のタイプ : 単純</p> <p>サイズ : 5</p> <p>穴の範囲 : 次の要素まで</p>

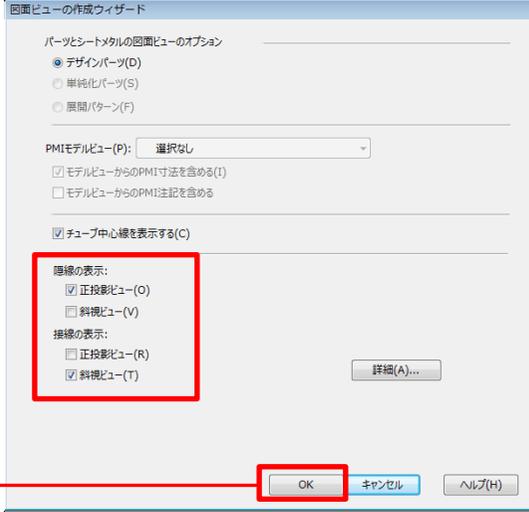
ページ	項目名	相違点
264	04 ライブ ルール を設定 する	<p><u>名称が変更されました。</u></p> <p>変更前「ライブルール」 変更後「<u>設計意図</u>」</p> <p><u>本項目の内容を下記に変更します。</u></p> <p>3次元的な幾何条件を判別して維持する機能を[設計意図]と呼びます。 <u>図形ウィンドウ内にフローティングメニューで表示されます。</u></p>  <p>オフにして動きを確認後、オンに戻す</p> <p>カーソルを移動</p>

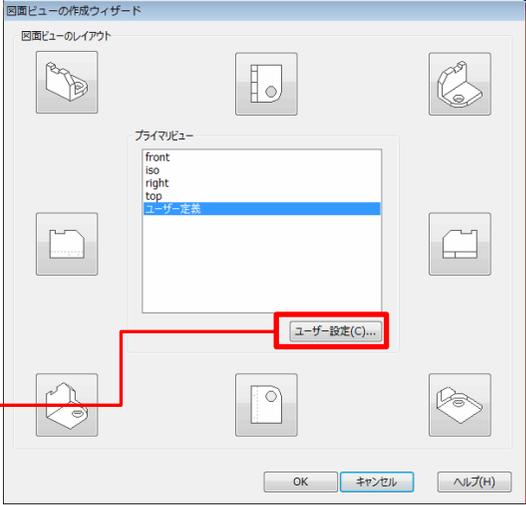
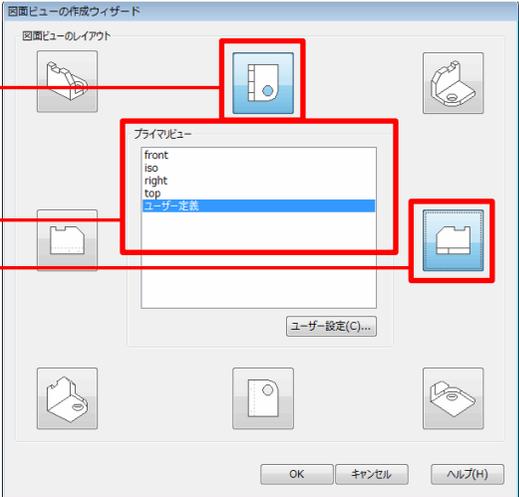
ページ	項目名	相違点
265	ライブルールについて	<p><u>ST7以前のライブルールにあたるアイコンは、[設計意図]メニューで「詳細」をクリックした際に表示されます。</u></p> <p><u>またファイル全体の設計意図や寸法等を一時的に無効化して移動可能にする機能と、移動対象に関する設計意図などの詳細確認および個別の無効化等が出来る機能が追加されました。</u></p> <p><u>アイコンの表を下記に変更します。</u></p>  <p>①<u>[一時停止/再開]ボタン</u>と③<u>詳細ウィンドウ ([Ctrl]+[E]キー)</u>はソリューションマネージャに統合されました。</p> <p>⑫<u>[軸に沿った穴の位置揃え]ボタン</u>は[位置揃えされた穴を維持]ボタンに変更されました。</p> <p>⑬<u>[ユーザー設定の軸]ボタン</u>は[傾斜した同一平面上の軸を維持]ボタンに変更されました。</p> <p>設計意図の追加機能については次ページをご参照ください。</p>

ページ	項目名	相違点
265	ライブルールについて	<p><u>下記の機能が追加されました。</u></p>  <p>「設計意図の設定を抑制」 「寸法を緩和」 「オプション」 「持続幾何関係を緩和」 「ソリューションマネージャ」 「自動ソリューションマネージャ」</p> <p><u>「設計意図の設定を抑制」 「寸法を緩和」 「持続幾何関係を緩和」</u></p> <p>ファイル全体の設計意図、寸法、持続幾何関係を一時的に無効化します。移動に影響を及ぼすものを特定しなくても、移動可能にすることが出来ます。</p> <p><u>「ソリューションマネージャ」</u></p> <p>移動に関係する要素に対する設計意図、寸法、持続幾何関係の確認と操作が出来ます。移動に影響を及ぼすものの特定が可能なので該当する設計意図などを個別に無効化して移動可能にしたり、移動したくない面を選択して移動対象から外したりするなども出来ます。</p> <p><u>「自動ソリューションマネージャ」</u></p> <p>チェックボックスがチェックされている時、移動処理の確定後にソリューションマネージャが自動的に起動します。なお形状変更に失敗した際はこのチェックに関係なく、ソリューションマネージャが自動起動します。</p> <p><u>「オプション」</u></p> <p>ソリューションマネージャ内で面の状態を示す色や、設計意図の表示方法を設定します。</p>

ページ	項目名	相違点
282	01 パーツを選択する	<u>コマンド名が変更されました。</u> 変更前「パーツへスクロール」 変更後「 <u>指定にスクロール</u> 」
294	05 パターンの基準フィーチャを選択する	<u>パターン配置時に「基準フィーチャの選択」が不要になりました。</u> 本項目の作業は不要です。
298	幾何関係の反転	<u>下線部分の誤記を訂正いたします。</u> 誤 幾何関係の[反転]とは指定された <u>気か</u> 関係を変更して～ 正 幾何関係の[反転]とは指定された <u>幾何</u> 関係を変更して～
313	01 表示を切り替える	<u>「切断を適用」は廃止されました。</u> <u>本項目の内容を下記に変更します。</u> <u>パスファインダから断面ビューの</u> <u>チェックボックスを操作して、</u> <u>断面の表示/非表示を切り替えます。</u> チェックをオフ 断面ビューの表示がオフ 

ページ	項目名	相違点
321	03 コマンドを実 行する	<p><u>コマンド名が変更されました。</u></p> <p>変更前「包含」 変更後「<u>スケッチに投影</u>」</p> <p>スケッチに投影</p>  <p>スケッチに投影</p> <p>「オフセットして投影する」をオン</p> <p>「関連性を維持」はオフ</p> 

ページ	項目名	相違点
344	ビューの作成	<p><u>[ビューウィザード]が「ウィザード形式」から下記の「コマンドリボン」に変更されました。</u></p> <p>各項目に対応するコマンドリボンのアイコンは下記の通りです。</p>  <p>03 作成ウィザード① / 詳細設定する</p> <p>04 作成ウィザード②/投影方向を指定する 06 作成ウィザード③/ビューを選択する</p> <p>なお「Solid Edge のオプション」の「図面ビューウィザード」で、ウィザード形式に変更できます。</p>
03	作成ウィザード① / 詳細設定する	<p><u>本項目の内容を下記に変更します。</u></p> <p>コマンドリボンの「<u>図面ビューウィザード</u>ダイアログ」をクリックしてダイアログを開きます。</p>  <p>配置される図面ビューの詳細を設定できます。設定変更は配置後も可能なので、ここでは変更せずに[OK]でダイアログを閉じます。</p> <p>なにも変更しないで[OK]を選択</p> 

ページ	項目名	相違点
344	04 作成ウィザード② / 投影方向を指定する	<p><u>本項目の内容を下記に変更します。</u></p> <p><u>コマンドリボンの「図面ビューレイアウト」をクリックしてダイアログを開きます。</u></p> <p>正面図の向きを選びます。</p> <p>3次元モデルに定義されているビューを選ぶか、3次元モデルを表示して選びます。</p> <p>ここでは3次元モデルを表示して選択するため、[ユーザー設定]をクリックします。</p> <p>[ユーザー設定]をクリック</p>  
345	06 作成ウィザード③ / ビューを選択する	<p><u>本項目の内容を下記に変更します。</u></p> <p>ここでは[正面ビュー]と共に配置する図面ビューを選択し、[OK]をクリックします。</p> <p>上面ビュー</p> <p>正面ビュー</p> <p>右側面ビュー</p> <p>「プライマリビュー」で正面ビューとしたい向きの設定ができます。</p> 

ページ	項目名	相違点
385	03 寸法表記のタイプを変更する	<p><u>[寸法のタイプ]にあるコマンド名が変更されました。</u></p> <p>変更前 「公差寸法」 変更後 「<u>単位寸法</u>」</p>
417	03 テンプレートの参照先を変更する	<p><u>[新規作成]ダイアログが変更されました。</u></p> <p><u>本項目の内容を下記に修正します。</u></p> <p>変更前 [新規作成]ダイアログの[More]タブから～ 変更後 [新規作成]ダイアログの[<u>Template</u>]から～</p> <p><u>テンプレートにするドラフト文書を選択</u></p> 